

# 信州大学 教育学部 同窓会報

信州大学教育学部同窓会報

【第9号】

発行人 清水 正  
事務局 長野市西長野6ノロ  
信州大学教育学部  
教育実践研究  
指導センター内  
TEL (0262)32-8106(代表)

## 柳萌え出ずるころ

同窓会副会長 手塚光晴



信州大学教育学部の同窓生の皆様方お変わりなく、それぞれの道にてご活躍のことと拝察申し上げます。先輩諸氏のご発議、お力により同窓会が足致しまして、早くも第八回の通常総会が八月十一日(金)開催の運びとなりました。また、本年度の組織拡充に関わりましては、地区代表理事さん方の絶大なるご尽力により、平成六年度は百六十名を越す増員を見るにつけ、同窓会の益々の充実の足音が聞こえ、頼もしく思う次第であります。

さて、私が教育学部にお世話になっていました頃に、心に残っている植物が一本あります。グラウンドの柳の木です。プール際の学生ホールに行つては時間を費やし、三角形の旭山、ムジナ郷路の山に目をやり、グラウンドを見ながら雑談に耽つていたことが多かったように思います。春先になるとグラウンドの南西の角に柳が美しく芽吹いて、し

なやかに風にそよいでいるのが印象的でありました。私は現在図らずもお隣りの加茂小学校に勤めて三年目を迎えるわけですが、あの柳の木の横を毎朝「やあ」と挨拶しながら通っています。柳君は当時に比べて大分太く大きくなりました。柳が萌え出ずる春は特に美しく、カメラを向ける人もいます。昨年は、西長野町の公報の表紙に載っていました。モノクロだったのが惜しまれましたが、是非芽吹き頃一度お出掛け頂きまして当時を偲ぶのも一興と存じます。

国道四〇六号もオリンピックに関係し、拡幅工事のため学部の校舎も建替えです。同窓会としては、教育者養成のため学部支援・会館建設・組織の拡充と大きな悲願を抱いて進んでいます。どうか、会員の皆様方の一層のご支援ご協力の程をお願いする次第であります。皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

今年の同窓会総会は八月十一日(金)です。

記念講演(一般公開)

「世紀末―世界に参加していくために」

ノンフィクション作家 吉岡 忍 氏

(佐久市出身)

## 所感

同窓会副会長 牧 三代



は、急速に意欲の減退が進んでいると書かれていました。

かつて、心理学専攻の大学三年生の女子学生に、専門家しか読まない五・六十ページに及ぶホワイトの論文を、二・三週間かけて読むように手渡したところ、読みこなしそれに基づいて卒業論文を書きあげた。今、大学院の学生に同じことをしようとすると、「こんなにやるんですか。とてもできません。」という。一つの論文を十人ぐらいに分けてやってくるのがせいぜいで、かつての学生のホワイトは無い、と。

無論、日本語で書かれたものを読むのとは大きな違いがあることは自明ですが、「現在の学生」には、かつての、独りで読みこなしたような力・気力が育っていない。関心・意欲・態度の基礎にある気力、関心・感動のない子が増えており、自分の存在価値を認識できない何よりの問題を抱えているというのです。

折しも、教育学部と工学部合同の卒業式に出席する機会をいただきました。学部長の小林輝行先生のはなむけの言葉は胸に刻まれました。

大江健三郎氏が、二枚のCDを聞いて初めて我が子の魂の叫び、深い哀しみ、苦しみを識つたように、真の魂の叫びを識ることは困難なことだ、



# 第七回同窓会総会報告

平成六年度の通常総会は、定例日である八月十一日、長野市（ホテル信濃路）で開催された。

島田副会長の開会宣言、清水会長がこれまでを総括した挨拶の後、丸山昭子・矢島直徳氏を議長団に選出、議事録署名名人に柗湖恭宏・内藤光雄氏を選任した。古川玲子・赤羽貞幸氏を書記に任命して議事に入り、次の三議案が審議された。

第一号議案 平成五年度事業報告書、収入・支出決算書及び財産目録の承認について

松林幹事長が事業報告、浅井幹事が会計報告をいづれも総会資料に基づいて説明し、清水監事による「適正に処理されている」旨の会計監査報告があり、全会一致で承認された。

第二号議案 平成六年度事業計画書（案）及び収入・支出予算書（案）の承認について

幹事長及び会計担当幹事から資料に基づいて説明があり、種々審議の結果、原案通りいづれも可決承認された。

〔平成六年度事業計画〕

一、会報発行 第八号、会費納入会員に配布



議事に先だって挨拶される  
清水 正 会長



講演中の若林 修氏

二、研究助成 海外派遣制度による選考学生対象

三、学部援助 学部・大学院の充実援助

四、組織充実 会費納入会員の拡充

五、長期構想計画 同窓会館の建設検討

第三号議案 役員の変更・任期の確認について  
長野地区代表理事徳武英世氏の後任に小林重勝氏の交代を了承。前会長新井好仁氏は顧問に推挙された。

議事終了後、北条舒正繊維学部同窓会千曲会理事長（元信州大学長）と小林輝行名誉会長（現教育学部部長）から来賓祝辞をいただいた。北条氏は各学部同窓会による連合会の推進を強調され、小林氏は、激動期の教育学部の現状と今後の諸課題（本紙4〜5頁参照）を挙げ、同窓会への一層の期待と謝辞が述べられた。手塚副会長閉会宣言。

総会に続いて、若林修氏（長野県経営者協会常勤コンサルタント）による「競争原理について」と題する記念講演会（一般公開）が開かれた。

午後は同じ会場で懇親会が催され、久々の旧友と再会し一時を楽しむことができた。

（前頁から）

が、愛によってのみ可能となる。子どもを笑う教師であってはならない。一人ひとりの魂の叫びを聴くことができる教師、子どもと共に学ぶエネルギーを人生に生かしてほしい、と呼びかけられたのです。

「自分の選んだ道で、努力を惜しまず自分を高めていきたい。」

卒業生・終了生代表者の応えもさわやかです。新会員三百六十二名を迎えた同窓会員。先達の後ろ姿に学びつゝ、後に続くだけかのお役に少しもたてるよう、課題を直視して私も燃えよう。

## 後輩をもつと教育現場に

同窓会副会長 島田孝司



長野市七十余校の小中学校の先生方に占める同窓生の割合を調べると次頁の様である。

五十代の私にとっては、周りの同僚が殆ど教育学部出身の同窓生であるのが当然と信じていた。だから、教育界での先輩、後輩は学生時代のものと同窓の好誼で；等があった。また、各種の研究會や大会で顔を合わせると当時の名物教授や先輩の話、学部の様子に花を咲かせたものだ。ところが調べてみて驚いた。

二十代の中学校の先生は、四人に一人しか学部出身者がいないし、その割合は年々小さくなっていく。また、最近では学部卒業生も三分の一強しか義務の先生にならないと聞く。教育現場にいる者にとっては淋しいことだ。そこで、母校との連携を



密にし教育に生涯をかける情熱溢れる若人を育てたい。その一助として、学部の好意で県下各校に寄贈いただいた平成四年創刊の「信州大学教育学部報」の活用はどうだろうか。学部の沿革、組織、施設、研究活動は勿論、全先生方のプロフィールや研究業績が掲載されている。是非ご覧いただきたい。是非ご覧いただきたい。素晴らしい研究をされている先生方をもっと教育現場に招聘し、ご指導を賜り母校との太いパイプを結びたい。

平成6年度 長野市小中学校在職教員に就める  
同窓生の割合 (%)

		20代	30代	40代	50代	60代
年代別割合	小学校	50.3	53.7	63.1	95.9	91.7
	中学校	25.6	43.8	42.0	81.0	71.4
	全体	40.0	49.5	54.7	91.2	84.2
全体の割合		58.0				

### 退官ご挨拶とお願い

同窓会副会長 関谷俊行



学部には昭和三二年一月松本分校工芸研究室に赴任以来三八年三ヶ月、同窓生の皆さんには公私とも大変お世話になりました。この場をお借り

して衷心より御礼申し上げます。昭和二二年旧長野師範入学

以来、同二五年度附属長野中学校勤務、また新制大学第一期生への編入学、そして学部教官時代など多様でありました。さらに高度成長期を駆け抜け、大学院修士課程設置に続いたこの三〇年は、専門分野の美術科の名称変更をはじめ、学科目整備など教員養成の変革とともに経過してきました。とくに同窓会創設においては、県下教育界の諸先生方の格別なお骨折りによって、今日の同窓会発展の基礎を確立していただきました。併せて、これまでの間のご指導と温かいご支援にたいして感謝申し上げます。

さて今後の学部は、児童生徒数の減に伴う教員採用の縮小傾向や昨今の学校問題への対応、あるいは南側道路拡幅によるキャンパスの狭隘化など、厳しい情勢下にあります。また全国的な大学改組とも絡む各教員養成大学学部の改組、入学定員減など、ほぼ最盛期の二分の一規模の縮小が文部省の方針といえます。平成四年度神戸大学教育学部の実質廃止に始まり、以降毎年度四〇五大学のリストラが、本年の本学教員養成入学定員四〇名減などと二七大学に及び、今後も進められます。

各位には、この教育学部冬の時代にご理解いただき、母校のサヴァイヴアルのため、いっそうのご援助ご協力をお願い申し上げます。

### 事務局たより

#### 会議日誌抄 (平成六年度)

- 四月三十日 幹事会
- 一、平成六年度通常総会について
- 二、組織充実について外
- 五月十四日 監査会
- 七月十日 理事会

- 一、第七回通常総会の開催について
  - 二、総会提出議案書案について
  - 八月十一日 第七回通常総会
  - 十月一日 幹事会
  - 一、通常総会の反省
  - 二、会計中間報告と今後の事業推進
  - 一月二十二日 理事会
  - 一、事業、会計中間報告
  - 二、今後の事業推進について
  - 三月四日 幹事会
  - 一、平成六年度事業、決算書のまとめについて
  - 二、第八回総会の開催準備について
- 平成六年度教育学部卒業生の進路

進路	先	人数
長野県義務教育教員		145
長野県高校教員		2
県外教員		43
民間企業員		31
公務員		11
大学院進学		48
その他		33
合計		313名

平成7年5月1日現在

### 平成六年度転退職教員

- 飯利 雄一 先生(理科教育)
- 昭和六十三年着任、停年退職
- 関谷 俊行 先生(美術教育)
- 昭和三十三年着任、停年退職
- 内藤 光雄 先生(技術教育)
- 昭和四十五年着任、停年退職
- 武田 時昌 先生(国語教育)
- 平成二年着任、京都大学へ転出



# の 近 況

## 二十一世紀の世界に翔ける

### 子どもとともに

— 学校教育の再生と  
生涯学習社会への対応 —

信州大学では教育課程の改革に伴い、平成七年度から教養部を発展的に解消し、各学部の一貫教育が円滑に実施できるよう、教育組織の再編充実を図ることになりました。教育学部の改革は、つぎのようです。

### 教育学部の改革要旨

二十一世紀の世界に翔ける子どもとともに  
— 学校教育の再生と生涯学習社会への対応 —  
戦後五十年余の間に、わが国社会は大きく変化しました。生活は豊かで健康なものとなり、余暇活動への関心が高まり、都市化が進む一方、子ども

の数が減り、豊かな自然を失いました。また、世界各国との交流も盛んになりました。

このような変化に伴って、不登校児や学習障害児に対する教育・深刻化するいじめや非行への対応・野外自然教育の在り方などが社会問題となり、長寿社会のもとの生涯学習社会の実現、国際社会のもとの異文化理解の促進が求められるようになりました。

今回の教育学部改革は、これらの教育に対する時代的要請にこたえるものです。— 社会の変化に即応できる資質能力を備えた教員の養成だけでなく、これまでの学校教育の枠を

越えたさまざまな教育活動に従事できる指導者の養成を目指しています。

### 小学校教員養成課程の再編

学校教育実践現場における諸問題、さらには、外国人子女、帰国子女の教育、国際理解教育などに関する指導方法等の諸問題等に適切に対応できる教員養成を行うため、初等教育の重要性を再認識し、小学校教員養成課程のカリキュラムを見直し、新たに教育実践科学専攻、心理臨床専攻、国際理解専攻のカリキュラムを編成し、学部目的である教員養成の一層の推進を計画しています。また、学校現場以外にある社会的ニーズに応えることのできるカリキュラムにも配慮することを計画しています。

### 生涯スポーツ課程の新設

近年の余暇時間の増大や生活水準の向上等に伴って、人々のライフスタイルや余暇に対する意識が変化してきています。また、高齢化社会の到来に伴って健康への関心が高まるなかで、スポーツ、野外活動の重要性と必要性とが認識されつつあり、その活動内容も多様化してきています。こうした社会変化に対応するため、新たに「生涯スポーツ課程」を設置し、人生の各ライフステージにおける健康とスポーツに関する分野での指導者など、地域社会のニーズに幅広く応える人材を養成しようと計画しています。

さらに、平成八年度から社会人特別選抜入試を実施し、社会人への門戸の開放を計画しているところと



教育学部







会

員

の

声



### 伊那の空から

中村和徳

空が明るいですねえ。

信大教育学部卒の新米先生の一人が私に言った。住み慣れた感覚には、大変新鮮だった。

長野県は広い。一つ峠を越えると、そこにはそれぞれ土地柄がある。それでも、どの地の学校へ行っても、誰か知り合いの先生がそこに居る。居なくても何かつながりがある。すくなくとも、教育の分野では、広い長野県が一つに通じ合っている。

各地から人が集い、又各地に散る。多様な交流が、地域のセクト性にエネルギーを与え活性化する。教育社会を基盤にして、このことは長野県全体の生活を支えてきたと思う。

そして、そのつながりを可能にした基の基が、信大教育学部にあったことも事実である。その意味で現在の教育学部はどうなのか。お互いの事として問い合っていきたいと思う。  
(春富中)

### 貧しかった学生時代

勝野敏樹

信州大学教育学部同窓会の地区代表理事を仰せつけられた時、自分が会費を納入していないことに気付きました。

役員になってみると、やはり一人でも多くの卒業生達に終身会費を納入していただきたいという気持ちが強くなり、自分のできる範囲で努力はしておりますが予想以上に難しく、期待した程の成果はあがりません。

さて、私どもが信州大学教育学部の学生時代は、皆大変貧しい学生生活を過ごしておりまして。私なども食事は一日に二食とし、一食は十円のコッペパン一つをしつかりと噛んで食べ、夜は御飯を煮てみそをつけて食べるという惨めな生活でした。しかも、就職難の時代でしたが努力して免許は四種類も取得し、卒業したら教員になれるのだという希望を胸に抱き頑張ったことが懐かしく思い出されます。  
(八坂小)

### 更なる充実発展を期して

池田定夫

数日で三月と言うのに白一色の北信濃。このところの暖かさで圧縮された雪が校庭に記された一メートルの線を未だに隠している。放課後の僅かな晴れ間をみてボールを蹴って雪上を走り回る子供達。遅しく育っていく姿に感動さえ覚えるこのごろです。

同窓会が結成されて八年、情熱込めて、それこそ献身的にこの会の発展に尽くしてこれた会長をはじめ多くの先輩の先生方に感謝します。会誌四号に掲載されている初代会長松橋英幸先生の

「同窓会のロマンを求めて」を読ませていただき、設立に至るまでの経過がいかに大変であったか、頭の下がる思いです。以来同窓会名簿を手掛かりに組織の拡充に努め、或いは会報発行による情報の提供、そして大学院設置への援助や学部への研究補助、留学生への助成等々この会の活動が具体的に動いてきています。

この会は母校との連携を保ちつつその充実発展に寄与することがねらいであります。年々高まる社会の多様な要請に、学部が安心して対応できるように物心両面から支えていける体制づくりが大切だと思えます。これからの微力ではありますが組織拡充に努めていく所存です。  
(木島平中)

### 同窓会への思い

藤原康二

本同窓会が、色々な願いや課題を抱えながら、今日まで地道ながら確実な歩みを続けてこられていることに敬意を表すると共に、私自身がそのことに少しばかりのお手伝いをしてこられたことをうれしく思っている。

同窓会は、いつも意識しているわけではない。かつての長野県教育界は信大教育学部の卒業生が大半をしめ、常にリードしてきたと聞くが、今は自校をみても少数であるし、その事を意識する事はない。そこにこの会の活動の困難さが在るよう思う。多くの先輩をもち、そのことが自分自身の支えになっていることは間違いのないのだが。さらに今後考えるべきは県内に教育学部を持ち、その附属校も持ちながら県教育界と学部の間ががなんとも弱いことである。教育課程や教科指導にかかわる研究指導体制が教育学部の教授陣と十分につながり得ていないことである。学部の先生方にも全国の教育の動向を常にらみつつ



県下の教育に鋭いメスを入れて頂きたいし、教育現場に向向いて欲しい。それによってつながりができ、同窓会としての活動も前進すると思う。そんな思いで同窓会を見つめている。(岡谷東部中)

### 同窓会の更なる発展を願って

小林重勝

はからずも前地区理事の徳武先生より残った任期の地区理事の仕事をお引受けして、懐かしい学部の先生方、先輩の先生方とお会いする機会に恵まれました。卒業して三十余年の歳月を経ても同窓会報を手にとると、木造校舎での懐かしい学生生活に想いは巡ります。

先輩の先生方のご尽力で同窓会名簿の刊行、大学院の開設、学部の研究助成、留学生への激励助成等、多大な実績をあげてこられました。

更に、今後は学部五十周年をめざして、長期構想計画にもとづき、同窓会館の建設も懸案となっているとお聞きしています。それには組織の充実が私共に課せられた急務かと思われれます。魂のふるさと信大教育学部の更なる発展のため一人でも多くの会員の参画が会の発展につながります。地元長野地区は卒業生も県下で最多であります。地区理事として残された任期の間、全力で地区の卒業生の皆様に連絡をさせていただきます。皆様方のご協力を心よりお願いいたします。(裾花小)

### 更埴より

荒川益雄

屋代中の下崎先生から更埴理事を引き継いで一年余になりますが、十分責任を果たせず反省と恐縮の極みで申し訳なく思っている次第です。昨年八月の第七回通常総会に出席させていただきました。

き、事務局、役員の方々が同窓会運営と組織充実に熱心に取り組んでいただいているご苦労に感謝の念を深くすると共に、また直面する課題の大きいことを痛感しました。

特に地区理事の役員会等への出席や、活動の在り方に大きい反省点があるように思いました。私もその一人として、組織の充実に率先して努力しなければならぬことを自覚させられました。現在のところ残念ながら十分成果があがっていません。

更埴は、現在学校数が二十校という小教地区であり、校長の協力も得て呼びかけ合っており、会費の納入も一層図っていきたくと思えます。また大勢の更埴出身者で他の地区の学校に勤務する方についても、積極的に働きかけをしなくてはなりません。支部組織の結成についての構想は、できるところから具体化していく必要があるのではないのでしょうか。

学部創設五十周年記念事業も検討され始めておりますので、一層の組織の充実強化は早急に進めなければならぬ課題と思えます。更埴でもこれらのことに、積極的に取り組んでいきたいと思っています。(戸倉小)



大学院生(現職教員)の現状を聞く懇談会  
(平成7年2月、小林学部長ほか出席)

### 研究助成海外派遣学生便り

フランス

社会科 関谷菜穂子

奨学金をいただく機会を得たことに小踊りしていた頃が、今では遠い昔のことのように思い出されます。こちらに来て五か月になりますが、この長いようで短い期間の間に、出発前には想像もし得なかったような、たくさんの貴重な経験を得ることができました。そして何よりの収穫は、それらの様々な体験を通して、自分自身に今までは異なる新たな疑問を投げかけるきっかけをつかんだことです。

フランスに来て生活し、学校の講義を聞き、また言葉をお交わしたり、街を歩くことでこの国を肌で感じる事ができます。そして、それは同時に自分の中の日本を見つめ直し、理解することにつながってきます。毎日、日本を敏感に意識しています。

一日が二四時間では足りないくらい、様々なことに興味深いです。今日もまた、有難くいただいたこの機会を生かして、精一杯何かを吸収しようと思気込みに溢れています。

スペイン

社会科 小谷将紀

オラ、今日は。現在スペイン、マラガ大学に留学させていただいています。これも一重に同窓会の諸先輩方をはじめ皆様方のお陰であると心得、冬のわりに輝りすぎる太陽に感謝している毎日です。大学にてスペイン文化の勉強を進めるとともに、最近ではスペインの小学校の見学もさせてもらっています。小さな学校なので「日本人来訪」の知らせは情熱的な子供達を興奮させてしまい、今や授業見学というよりもスターサイン会のような



信州大学教育学部同窓会

第八回通常総会(通知)

日時

平成7年8月11日(金)

午前10時より

会場

長野市岡田町「ホテル信濃路」

次第

- 1、開会宣言
- 2、会長挨拶
- 3、議長団選任
- 4、議事録署名人の選任並びに書記の任命
- 5、議事

第一号議案 平成6年度事業報告書、収入・支出決算書及び財産目録の承認について

第二号議案 平成7年度事業計画書(案)及び収入・支出予算書(案)の承認について

第三号議案 役員改選・任期の確認について

- 6、来賓祝辞
- 7、閉会宣言

総会后、11時30分より記念講演会、そのあと懇親会

記念講演

(一般公開) 十一時三十分より

「世紀末——世界に参加していくために」

ノンフィクション作家

吉岡 忍氏



と、阪神大震災やオウム・サリン事件などで考えたこと——を皆さんにお話ししたい。

混乱し、解体していく日本と世界にあって、歴史から引き継ぐべきこと、あらたに作り上げていくものは何なのか。アジアやロシアやアメリカで見てきたこ

〈プロフィール〉

一九四八年七月 佐久市生まれ  
学生時代から教育、文化、政治、テクノロジーなどをテーマに週刊誌、新聞等に寄稿、執筆する  
一九八七年 「墜落の夏—日航一二三便事故全記録」で第九回講談社ノンフィクション賞受賞

一九九三年 日本ジャーナリストクラブ大賞受賞  
一九九五年 阪神大震災取材で神戸に一カ月滞在  
NHK、TBS、テレビ朝日等報道番組でも活躍  
〈おもな著書〉

エイズの表情(国民教育研)、放熱の行方(講談社)、新聞で見た町(朝日新聞社)、わたしの地球(潮出版)、日本人ごっこ(文春文庫)、墜落の夏(新潮文庫)、教師の休日(朝日文庫)、学校の力(同)、「もう学校にはいられない」(同) 外多数

(前頁から)

有様です。授業は日本より開放的でやや騒がしい感もありますが、活発に発言が飛び交います。カーニバルが近いので、休み時間は踊りの練習です。おなじみのフラメンコが先生から子供達へと伝授、披露されます。伝統文化の美しさ、大切さを感じることも、私とパエジャ太りの体がよく自然にフラメンコのリズムに呼応してくるのに気付きました。この貴重な経験を将来生かすために、このスペイン情熱留学を果のものにしたと張り切っております。アディオスそして失礼します。

◆同窓会費の納入について(ご注意)

本同窓会は終身会費制をとっています。入会時に一万円を納入いただくと、以後の会費徴収はありません。会費を納入くださった会員のみに、この会報を個人宛郵送しております。二重払いのないようご注意ください。

◆同窓生名簿発行の問い合わせについて

最近、何人かの会員から事務局へ、同窓生名簿を発行するから資料を送るようというハガキが届いたが、同窓会でそのような事業を進めているのかというお問い合わせがあります。当同窓会とは何の関係もありません。

記念講演会終了後、「ホテル信濃路」において懇親会(会費五〇〇〇円)を開催します。こちらへも多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。